



日常の中に課題を見つけ、データを用いて解決してみよう

本プログラムでは、健康・医療・介護、教育、こども、防災、モビリティ、農業・水産業・食関連産業、港湾、インフラなどの各行政分野を対象に、生活や仕事などの日常の中に課題を発見する手法や、データを用いて課題を解決する手法を学びます。

本プログラムの学習目標

- 1 正しいデータを効率的に収集するシステム(アプリ、ソフトウェア)を開発することができる
- 2 システムで収集したデータを分析することで正確に状況を把握、課題解決のためのヒントを得ることができる
- 3 システムで収集したデータを利活用(2次利用)することで課題を解決することができる

プログラム内容

- ▶ **システム開発/データ分析ハンズオン**: ローコード・ノーコードツールを用いて、具体例に沿って、上記のプロセスを体験します。
- ▶ **業務改善アイデアソン**: デザイン思考に基づいて課題を発見し、アイデアを創出します。これにより、身近な課題を解決するシステムやデータ活用の方策を明らかにします。
- ▶ **プロトタイプ開発**: チームでシステムの試作に取り組み、フィードバックを通じて効果を検証します。
- ▶ **成果発表会**: 実際に動くシステムのデモを行い、システムの社会実装について話し合います。

スケジュール

※詳細スケジュールおよびカリキュラムは裏面をご覧ください。

- 6月14日(土) **第1回 システム開発/データ分析ハンズオン【初級編】**
非情報系人材でもシステム開発/データ分析を実践できるローコード・ノーコードツールによる業務システム内製開発を体験します。
- 7月5日(土) **第2回 業務改善アイデアソン**
デザイン思考に基づいて、日常の中に課題を見つけ、課題を解決するアイデアを考えます。
- 7月19日(土) **第3回 システム開発/データ分析ハンズオン【中級編】**
ローコード・ノーコードツールを用いてリッチなUI(ユーザインタフェース)を有するシステムの開発や、より高度なデータ分析・可視化に取り組みます。
- 9月6日(土) **第4回 成果発表会**
研究成果を全体に共有します。チームによるショットガンプレゼンテーションとシステムデモ展示を予定しています。

時間	第1回	第3回
	①10:30~11:00 講演/②11:00~12:30 13:30~15:00 演習/ ③15:00~15:20 事例紹介	①10:30~12:30 課題発見・アイデア創出/ ②12:30~15:00 アイデア評価・チーム形成/③15:00~16:00 チーム活動計画
	第2回	第4回
	13:30~16:00 成果発表会	

講師/アシスタント

【ハンズオン講師】香川大学 スタッフ・教職員



DXラボスタッフ
箕原 海斗
大学院創発科学研究科
情報システム・
セキュリティユニット



DXラボスタッフ
谷崎 勇太
大学院
創発科学研究科
情報社会ユニット



DXラボスタッフ
吉岡 里穂
大学院創発科学研究科
情報システム・
セキュリティユニット



DX推進研究センター
教授
米谷 雄介
専門分野:ナレッジ
マネジメントシステム

【リサーチ・アシスタント】創造工学部情報システム・セキュリティコース 学部生

Q ローコード・ノーコードツールとは?

コンピュータ・プログラミングの代わりに、グラフィカル・ユーザー・インターフェースと設定を通じてアプリケーション・ソフトウェアを作成できる技術のこと。

申込方法や詳細は裏面へ

情報通信交流館 e-とぴあ・かがわ

〒760-0019 香川県高松市サンポート2番1号 高松シンボルタワー タワー棟4・5階
TEL:087-822-0111 FAX:087-822-0112 <https://www.e-topia-kagawa.jp>

【開館時間】火曜日～金曜日 10:00～21:30、土曜日・日曜日・祝日 10:00～18:00

【休館日】毎週月曜日(月曜日が祝日・振替休日の場合は、翌日に最も近い祝日・休日でない日)、年末年始(12月29日～1月3日)

SNSで情報発信中! (Facebook・X・YouTube)「e-とぴあ・かがわ」で検索

情報通信交流館 web検索

ご来館は、公共交通機関をご利用ください。

対象ユーザ

一般市民

- ・地域課題の当事者
- ・高校生、学生、地域のビジネス企業、NPOなどが該当
- ・デジタル技術やデータの活用に関心がある方

身の回りにある課題の解決に役立つデータ活用手法を学ぶことができます。

デジタル人材

- ・IT技術を提供
- ・IT技術が適用可能な課題を知りたい方
- ・活用できるデータの理解を深めたい方

地域のステークホルダーや行政職員と関係性を構築しながら、貢献できる課題やIT技術のニーズを獲得できます。

行政職員

- ・データ管理が得意
- ・データを効率的に収集し、活用する技術を高めたい方
- ・データを活用可能な現場の課題について理解を深めたい方

日常の中に課題を見つけ、データを用いて解決する

一般市民やデジタル人材と協力して地域の共通課題を発見し、課題解決に有用なデータを特定できます。

受講料

無料

対象・定員

対象 | 高校生以上

※18才以下は保護者の同意が必要です。

定員 | 30名(高校生・大学生15名、社会人15名)

※先着順受付

参加条件

- デジタル技術を用いて業務を効率化したい方、または地域の魅力を向上させることに興味、関心のある方
- 原則全日程参加できる方
- 普段からパソコン、スマートフォンを学習や業務等で利用している方（アプリ・ソフトウェア開発のスキルは不要です）
- Wi-Fiにてインターネットに接続可能なノートPCを持参できる方（※OSはWindowsが必須です。Versionは問いません）
- 必須条件ではありませんが、地域貢献に関心があり、地域での活躍の場を探されているITに詳しい方のご参加を歓迎
- 成果物の取り扱いについてはオープンソースとし、無償で誰もが自由に改良・再配布をできるようにします。

申込方法

情報通信交流館(e-とびあ・かがわ)のホームページよりお申込みください。

HPIは
コチラ▶



申込締切 **6月6日(金)**

開講スケジュール／カリキュラム

#	開講日	トピック	活動内容
1	6/14(土)	システム開発／データ分析ハンズオン【初級編】	「イベント参加受付システムを開発しよう」 「イベント参加受付状況を可視化しよう」 参考となるシステム 「欠席届申請システム」▶
2	7/5(土)	・業務改善アイデアソン ・チームビルディング	アイデアワークを通じて、日常の中に課題を見つけ、アイデア創出をおこないます。高校生、大学生、企業（ビジネス系・IT系）、自治体、NPOなど多様な参加者でチームを組み、チームで取り組む対象分野と課題を設定します。
-	7/6(日) ～7/18(金)	・プレスリリース作成 ・プロトタイプ開発	チームでプロトタイプを開発します。 フォーマットに基づき、システムのコンセプトを説明するプレスリリースを作成した後、コンセプトに基づくプロトタイプを開発します。
3	7/19(土)	システム開発／データ分析ハンズオン【中級編】	「落とし物管理システムを開発しよう」 「落とし物届出状況を可視化しよう」 参考となるシステム 「落とし物管理システム」▶ KadaMikke▶
-	7/20(日) ～9/5(金)	・プレスリリース更新 ・プロトタイプ開発 ・デモ動画作成 ・ポスター作成	チームに分かれて、プレスリリースのアップデートとプロトタイプの開発を繰り返します。チームで開発したシステムを対象分野の関係者に試用してもらい、ねらいとする効果が出ているかを検証し、さらなるブラッシュアップに取り組みます。遠隔コミュニケーションツールを利用してチームで意見交換しながら進めます。 システムの改善におけるトラブル解決や質問には、講師 / アシスタントが対応します。
4	9/6(土)	研究成果発表会	・ プレスリリース、システムデモ動画のショートプレゼンの後、ポスター発表をおこないます。 ・ 参加者にプロトタイプを体験してもらうとともに検証結果を共有します。 ・ システムの社会実装に向けた改善点について議論します。

主催：情報通信交流館(e-とびあ・かがわ)、国立大学法人香川大学

共催：かがわ情報化推進協議会

協力：日本マイクロソフト株式会社、日本電気株式会社

後援：大学・地域共創プラットフォーム香川、香川県教育委員会、高松市、スマートシティたかまつ推進協議会、四国情報通信懇談会

協賛：情報処理学会四国支部、教育システム情報学会四国支部